

# JICAベトナム事務所 月報

第170号（2023年9月号）2023年9月22日発行

本月報に関するご意見、ご要望は  
[vt\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:vt_oso_rep@jica.go.jp)までお送り下さい。

Website（日・越・英）：  
<http://www.jica.go.jp/vietnam/vietnamese/index.html>

Facebook（越）：  
<https://www.facebook.com/jicavietnam/>

発行：JICA ベトナム事務所広報班

# 目次

## イベント

- 日越大学で ASEAN 地域の高等教育に関する研究成果を発表しました 3
- ベトナムの地下空間開発ワークショップを開催しました 4

## プロジェクト活動

- 枯葉剤被害者の職業訓練支援シンポジウムを開催しました 5
- ホーチミン日本商工会議所主催のセミナーで JICA 専門家が環境政策に係る講演を行いました 6
- ベトナム水文気象誌に JICA 技プロ特集が掲載 7

# 日越大学で ASEAN 地域の高等教育に関する研究成果を 発表しました



セミナーの様子

2023年8月8日、国際協力機構(JICA)と日越大学の共催により、JICA 緒方貞子平和開発研究所の萱島信子シニア・リサーチ・アドバイザー、早稲田大学大学院黒田一雄教授他が、「ASEANの大学の発展に教員の海外留学(修士・博士)が及ぼしたインパクト」に関する研究成果を発表しました。

本研究では、ASEAN4 各国(ベトナム、インドネシア、カンボジア、マレーシア)のトップ10大学に対して調査が行われ、ベトナム国家大学ハノイ校とハノイ工科大学が対象となりました。

発表では、全ての国で教員の海外留学が帰国後の活動、特に国際的な教育研究活動にポジティブなインパクトを及ぼしているものの、対象国の高等教育の発展にともない、同インパクトが限定的になることが明らかになりました。

なお、本研究の最終報告書は来年出版の予定です。

## ベトナムの地下空間開発ワークショップを開催しました



記念写真

8月25日、JICA とベトナム建設省は、大都市の地下空間開発についてのワークショップを開催しました。本ワークショップは、ベトナムの都市開発に必要な地下空間に関する法整備の促進を目的としており、専門家による都市鉄道や地下街等、日本における地下空間の活用事例や開発課題の共有後、関係者間で幅広い意見交換が行われました。ベトナムの地下空間の利便性の向上のみならず、地上と地下が一体となった総合的な開発により、市民の賑わいや交流を生み出す空間となるよう、JICA は引き続き協力していきます。



JICA ベトナム事務所篠田孝信次長による挨拶の様子

# 枯葉剤被害者の職業訓練支援シンポジウムを開催しました

8月2日、JICA 草の根技術協力事業「ホーチミンの枯葉剤被害障害者のための職業訓練モデル開発プログラム」の終了シンポジウムが開催され、在ホーチミン日本国総領事館、特定非営利活動法人国際環境改善機構（IEIO）、JICA ホーチミン出張所、VAVA 中央本部及び地方支部等より、日越の事業関係者が多く参加しました。

シンポジウムでは鈴木プロマネより、VAVA ホーチミン支部と共同で枯葉剤被害障害者を農業技術者・ジョブトレーナーとして育成し、農作業を通じた社会参加を促進した事、今後、ベトナム全国への事業展開の必要性につき説明がありました。

育成した農業技術者・ジョブトレーナーからは、プロジェクトで学んだ知見、訪日研修等につき共有があり、他の参加者と共に今後の取組みについて活発な議論が行われました。

草の根技術協力事業（支援型）「ホーチミンの枯葉剤被害障害者のための職業訓練モデル開発プログラム」

・実施期間：2021年10月11日～2023年9月29日

・参考リンク：[事業提案書要約 \(jica.go.jp\)](https://www.jica.go.jp/)



最後の集合記念写真

## ホーチミン日本商工会議所主催のセミナーで JICA 専門家が環境政策に係る講演を行いました



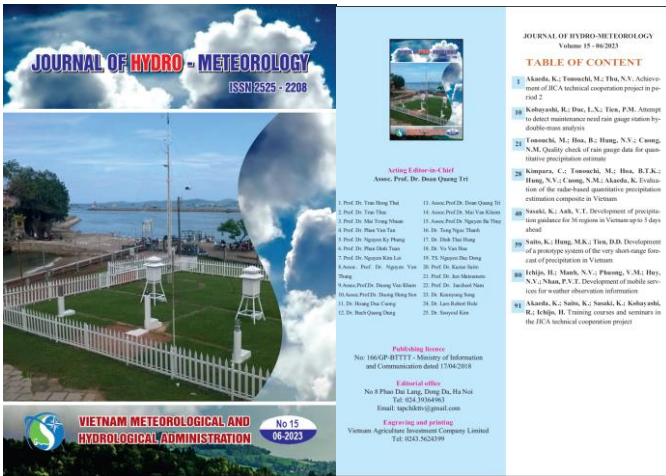
講演を行う安達専門家

8月28日、ホーチミン日本商工会議所事業環境委員会主催(以下商工会)の「ベトナム環境政策セミナー」で安達専門家(天然資源環境省(MONRE)環境管理アドバイザー)が、ベトナムの環境政策について講演を行いました。ベトナムでは2020年に環境保護法が改正されてから環境対策が強化されており、ベトナムで様々な事業を展開している日本企業等において、その対策がますます求められてきています。一方、ベトナムの環境政策は複雑になり、また法律として定まっている法定事項に関して企業がどのように対応していくのか、難しい状況もあります。

専門家からは、ベトナム環境政策全般と、一例として現在改定が進められている、排水基準や排ガス基準等の概要報告がなされました。

今回のセミナーは、商工会からの依頼によって実施され、当日は80社100名近くの参加者があり、セミナー終了後も活発な意見交換が行われました。JICAも、プロジェクトや専門家の活動で得られた政策等の情報について、このような形で積極的に発信していきます。

## ベトナム水文気象誌に JICA 技プロ特集が掲載



ベトナム水文気象誌 2023 年 6 月号表紙と目次

同局長官が編集長を務めるほか、国外の研究者も編集委員になっています。2020 年 8 月号(<http://vnjhm.vn/list-articles-by-code/35/333>)には、上述の技術プロジェクトの第一期(2020 年 3 月まで)の成果をまとめた特集号が刊行されていましたが、この度、同誌の 2023 年 6 月号として、この技術プロジェクトの第二期(2020 年 4 月から)の成果をまとめた特集号の第二報が刊行されました

(<http://vnjhm.vn/list-articles-by-code/64/590>)。同号には日本の JICA 関係者とベトナム気象水文総局の職員の共著による 7 つの科学論文と、同技プロで行われた研修についてまとめた技術報告一編が掲載されています。

本技術プロジェクトは 2023 年 12 月に終了しますが、JICA 特集号として、プロジェクトの成果を学術的・技術的に整理し引用可能な形でまとめて残せたことは、今後の日越間の協力活動の継続や、他国での技術プロジェクトにも参考になるものとして、意義深いと考えています。

齊藤和雄・登内道彦(気象業務支援センター)  
\*・赤枝健治(JICA 長期専門家)

\*気象業務支援センター  
<https://www.jmbasc.or.jp/jp/index.html>

ベトナムでは、毎年のように大きな気象災害が発生しており、その軽減は重要な課題です。2018 年 5 月から、ベトナム気象水文総局をカウンターパートとして、JICA 有償勘定技術支援「ベトナム国気象予測及び洪水早期警報システム運営能力強化プロジェクト」が実施されています。プロジェクトでは、①気象観測機材の保守点検及び校正、②気象観測レーダーデータの解析及び品質管理、③大雨・台風に関する監視・予報業務、④情報伝達、の各能力の向上を目指しています。

ベトナム気象水文総局が発刊している学術・業務技術誌に、ベトナム水文気象誌(Vietnam Journal of Hydrometeorology, <http://vnjhm.vn/>)があります。



プロジェクトで開発した気象観測値表示アプリ